



令和7年度 帯広市立清川小学校 学校便り

清川

清川小
HP
↓



学校教育目標 『考える子(知) 豊かな子(徳) 強い子(体)』
キャッチフレーズ 『笑顔あふれ 心あったか 清川っ子』
重点(目指す子どもの姿)

【あいさついっぱい】 【チャレンジいっぱい】
【えがおいっぱい】 【おもいやりいっぱい】

開校60周年テーマ

『未来へ絆をつなごう〜清川っ子60年の物語〜』

令和7年12月2日発行 No.16 (文責 新津 貴裕)

『子どもたちが笑顔で自分らしさを発揮し、生き生きと活躍できる学校』

今この時期だからこそ、あらためて 時を守り 場を清め 礼を正す

今年度の学校経営重点目標に迫るためのアプローチポイントの1つとして『**時を守り 場を清め 礼を正す**』を取り上げています。子どもたちが生きていく上でこの3つの姿勢は大切にしてほしいと願っています。

これは、昔からしつけの基本とされてきたものですが、学習面だけでなく、友達関係や将来の社会生活にもつながる、大切な“生きる力”でもあります。ここでは、学校としての取組と、子どもたちにどのように成長してほしいかをお伝えします。どうぞよろしくお願いいたします。

1. 時を守る

「時を守る」とは、時間を守るだけでなく、**約束を大切に作る姿勢**そのものです。

登校時間、授業の始まり、提出物の期日…日々の学校生活は“時間の区切り”の積み重ねです。時間を意識して行動できる子は、気持ちの切り替えがうまく、集中して学習に取り組むことができます。

学校での取組

- ・チャイム着席の習慣づくり
- ・授業開始までの準備の徹底
- ・提出期限の意識付け

ご家庭へのお願い

- ・朝の支度を前日に整えるなど、家庭でも時間を守る習慣づくりにご協力ください。
- ・「早くしなさい」より「何分までにできる?」と、子どもに考えさせる声かけが効果的です。

2. 場を清める

「場を清める」は、教室や学校をきれいにすることにとどまらず、**自分が使う場所を大切にし、心地よい環境をつくる力**です。整理整頓ができる教室は、学習への意欲を高め、人を思いやる気持ちも育ちます。

学校での取組

- ・掃除の時間に「丁寧さ」「責任ある行動」を重視
- ・身の回りの整理整頓(机の中、ロッカー)を定期的に振り返り
- ・使ったものをもとの場所に戻す指導の継続

ご家庭へのお願い

- ・学習道具やランドセルの中身を、時々一緒に見直していただくと習慣化につながります。
- ・「片付けなさい」だけでなく、「どこまでできた?」という確認の声かけが励みになります。

3. 礼を正す

「礼を正す」とは、あいさつや言葉づかいを通して、**相手を大切に思う心を表す**ことです。

誰に対しても気持ちのよいあいさつができる子は、友達に優しくでき、クラスの雰囲気をも温かくしてくれます。

学校での取組

- ・朝のあいさつ運動の充実
- ・話の聞き方(姿勢・表情・目線)の指導
- ・「ありがとう」「ごめんなさい」を自分の言葉で伝える指導

ご家庭へのお願い

- ・家族間での“思いやりの言葉”の経験が、学校での礼儀ある姿につながります。
- ・子どもがあいさつした時には、短い言葉でも笑顔で返していただくと大きな励みになります。

参観日・懇談会へのご参加ありがとうございました

先日の参観日には、お忙しい中、多くの保護者の皆様にご来校いただき、心より感謝申し上げます。子どもたちは、保護者の皆様に見守られながら、日頃の学習の成果を見せようと目を輝かせて取り組んでいました。練習の成果をしっかりと発揮できた子、少し緊張しながらも一生懸命に発表し



たり、課題に対する自分の考えをノートにまとめたりする姿を見せられた子など、それぞれの頑張りがキラリと光っていました。

参観後の全体懇談会にも、たいへん多くの保護者の皆様にご参加いただきました。今年度の経営方針の確認や次年度以降の学校体制について、校長室での子どもたちの様子や感動のハクセキレイ成長動画を見ていただきました。その後、学校評価アンケート結果や家庭学習の取組等についてもそれぞれお話しさせていただいたところで



また、各学級では子どもたちの様子、これからの学校生活に向けた取組、家庭との連携など、子どもたちの成長をともに支えていくうえで重要なお話を共有できたことを大変うれしく思います。いつも感じさせられることですが、あらためて本校の教育活動を支えてくださる保護者の皆様の温かな支援のありがたさを感じました。今後とも子どもたちの健やかな成長のために、学校と家庭が力を合わせていければと思います。

卒業式の服装について ～6年生の保護者の皆様～

毎年この時期に学校便りにてお願いさせていただいておりますが、今年度も改めてのお願いをさせていただきます。学校の授業は、学習指導要領を基準として編成する教育課程（学校の教育計画）に従い行うことと法的に定められています。授業には、各教科・特別な教科道徳・外国語科・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動があり、今回取り上げました「卒業式」等は「特別活動」に属します。特別活動は学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事から構成され、卒業式等はその中の学校行事に属し、「儀式的行事」と呼ばれます。「儀式」ではなく「儀式的行事」であることが大切であり、卒業式はセレモニーではなく授業であるということです。授業は学校が様々な要素から定めた決まりや約束の中で行われ、全ての自由のもとに参加できるというものではありません。また、**儀式的行事のねらいは学習指導要領の中にも「学校生活に有意義な変化や折り目を付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと」と示されています。**厳粛や清新とは「おごそかで慎み深い」「新しくすがすがしい」という意味で、「華々しい」等の意味は含まれておりません。さらに「有意義な変化や折り目」「新しい生活の展開への動機付け」というねらいを達成するためには、子どもたちの中学校への期待やイメージを大切にする必要があります。服装は個人の自由であり、表現の自由であることや様々な服装で晴れの日を飾ってあげたいという方のお気持ちも理解いたします。しかし、前述の理由から本校では、**卒業式は6年生が小学校で迎える「最後の授業」であることを重視し、卒業式における6年生の服装について「進学予定の中学校の制服」が望ましいと判断**させていただきます。是非ご理解をいただき、当日の服装についてのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ナイス!清川っ子2025



今年も原田先生をお迎えし、5年生が『生け花』に挑戦しました。子どもたちは初めての体験ではありましたが、集中して取り組み、個性輝くすてきな作品に



仕上げました。原田先生には、入学式や卒業式の壇上花もお願いしており、大変お世話になっております。

生け花出前授業

